

## 森と水をつなぐ 東近江の暮らし再発見プロジェクト

### 活動場所

- ・位置…………旭化成住工株式会社 本社・滋賀工場内
- ・フィールドタイプ……川・湿地・森・  
企業敷地内ビオトープ
- ・面積……………0.08ヘクタール（ビオトープ）

### 活動の目的

滋賀工場が立地する東近江市湯屋地区には、かつて溜池や水田、雑木林などの里山環境が広がる豊かな水辺生態系があり、文献などによれば、水利や防災など溜池を中心とした暮らし・文化があったと考えられます。この溜池の一部を復元することで地域に生息するいきものを保全し、観察会などで地域住民にその大切さを伝えます。また、工場イベントを通じて、地域資源としての森林や農作物などを守るためのつながりの場を提供します。

### 活動の内容

2017年6月、水辺生態系に生息するいきものの保全を目的として、敷地内に工場建設以前にあった溜池の一部を1/5スケールで復元した「湯屋のヘーベルビオトープ」を建設しました。

建設に当たっては、近隣の㈱クレフィール湖東に協力をお願いし、同社敷地内にある生物多様性豊かな湿地の土や植栽を移植するとともに、昔からの貴重な環境が残る近隣の溜池を管理する自治会に依頼し、ここに生息する水草の移植や、隣接する田んぼの水路の魚を導入し、生態環境を整備しました。

また、東近江市や近隣小学校と連携し、夏休みや工場秋祭りを利用して、㈱クレフィール湖東との共催で親子トンボ観察会や、ビオトープでのいきもの観察会を、専門家の指導の下で実施しました。

これらの活動は広報誌で従業員に報告、社外発表も積極的に行っています。

### 今後の展望

地域間伐材を活用した組木製品などを工場の秋祭りで紹介、即売したり、従業員食堂において地域産野菜を使った地産地消メニューを提供するなど、東近江市の第2次環境基本計画と連携した取り組みを行います。

### 一言コメント

長く地域で事業活動を行う企業の社会的役割として、企業内ビオトープの活用による生物多様性保全活動や、いきもの観察会などの環境学習活動、また、地域産木製品の紹介、販売の場の提供による森林の活用や、地域産食材の従業員食堂での消費などを通じて地域の文化と経済に貢献します。



本社・滋賀工場全景



湯屋のヘーベルビオトープ



いきもの観察会

#### 実施体制

構成員：旭化成住工株式会社 本社・滋賀工場、株式会社クレフィール湖東、東近江市、近隣自治会及び小学校

事務局：旭化成住工株式会社 RC管理部環境安全課

連絡先：〒527-0103 滋賀県東近江市湯屋町1番地  
TEL 0749-29-9007  
E-mail Juko-kankyo@om.asahi-kasei.co.jp  
<https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/>